

2010年度 特別勘定の現況

●投資環境(2010年度)

日本株式市場

当期の日本株式市場において、日経平均株価は期初11,089円で始まりまして、4月3日に当期の高値となる11,339円をつけた以降は、欧州諸国の財政懸念等によるリスク回避姿勢の強まりから円高が進行したため、輸出関連株等が売られ、8月には9,000円台を割り込みました。その後、米国の金融緩和措置や円高傾向が解消されたことから相場は上昇に転じました。しかし、東日本大震災の影響で3月中旬には再び9,000円を割り込み、当期の安値となる8,605円をつけましたが、期末にかけ上昇し9,755円で終了しました。

外国株式市場

当期の外国株式市場は、昨年度末からの経済回復期待で堅調に始まりましたが、その後脆弱な米経済指標の発表や欧州諸国の緊縮財政政策が世界的な経済成長を鈍らせるとの懸念が高まり、7月に米国S&P500指数は1,022ポイント、英国FTSE100指数は4,805ポイントの安値をつけました。9月以降は好調な経済指標や金融緩和策の発表等により上昇に転じ、3月に日本の震災と原発問題があったものの、期を通じて堅調に推移し、期末はS&P500指数が1,325ポイント、FTSE100指数が5,908ポイントで終了しました。

日本債券市場

当期の日本債券市場において、長期金利(10年国債利回り)は期初1.40%で始まりましたが、4月以降の欧州財政危機に伴う投資家の質への逃避行動や景気回復への懸念等から利回りは下落(価格は上昇)基調となり、9月には0.84%まで低下しました。米国の中央銀行による追加的な金融緩和策によって、景気の先行き見通しや金融市場のセンチメント(市場心理)が回復し、資産価格上昇および金利上昇が見られた結果、利回りは上昇し、2月には1.3%台までつけましたが、期末は東日本大震災の影響により1.26%で終了しました。

外国債券市場

当期の外国債券市場は、期初、ギリシャ債務懸念の周辺諸国への波及や米国の経済指標が弱含んだことから景気減速懸念が再燃し、これに伴う投資家の質への逃避行動から債券が買われ、利回りは下落(価格は上昇)し、米国国債(10年債)で2.38%、ドイツ国債(10年債)で2.12%となりました。その後は、米国の景気回復期待などから、主要国の国債利回りは上昇に転じました。3月には日本の震災と原発問題から一時的に下落しましたが、期末は米国国債(10年債)が3.47%、ドイツ国債(10年債)が3.35%で終了しました。

外国為替市場

当期の外国為替市場は、年度を通じて円が主要通貨に対して強い展開となりました。円は対米ドルで93円台から始まりましたが、市場での利上げ観測が後退したことから円高が進み、11月初旬には80円台前半をつけ、95年以來の円高水準に達しました。対ユーロについても円高が進み、期初の126円台から、8月には一時01年以來の105円台をつけました。3月の日本の震災と原発問題により、対米ドルで一時78.89円をつけたものの、その後は円が売られ、期末は、対米ドルが83.13円、対ユーロが117.69円で終了しました。

●特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移

特別勘定の運用状況をご参照ください。

②当期の運用方針

当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。

③今後の運用方針

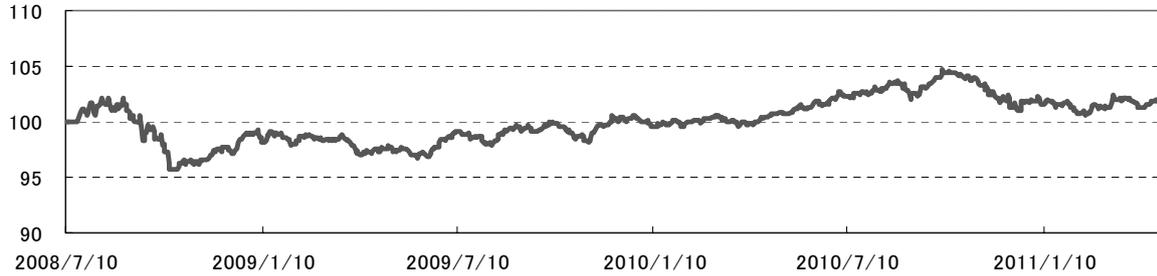
当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。

特別勘定「SAバランス0807A」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0807A	0.13%	0.34%	-1.92%	1.30%	2.08%	102.08

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,842	98.8%
現預金・その他*	22	1.2%
純資産総額	1,864	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	69.3%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	29.5%
3				
4				
5				

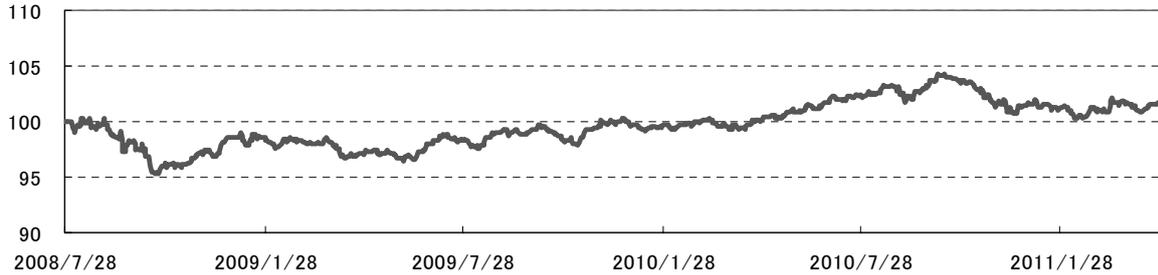
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■ 当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0807B」運用状況

2011年4月末現在

■ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月28日）



■ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0807B	0.13%	0.34%	-1.93%	1.30%	1.74%	101.74

■特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,501	98.7%
現預金・その他*	31	1.3%
純資産総額	2,533	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	59.3%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	39.4%
3				
4				
5				

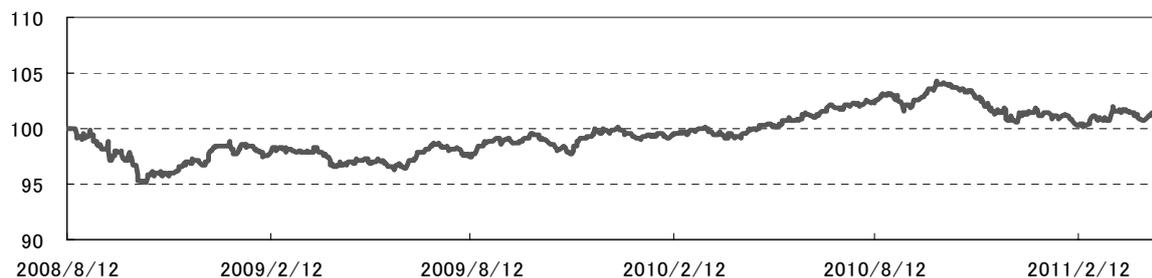
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SA/バランス0808A」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月12日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0808A	0.13%	0.34%	-1.94%	1.33%	1.62%	101.62

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	3,028	98.4%
現預金・その他*	48	1.6%
純資産総額	3,077	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	39.4%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	59.0%
3				
4				
5				

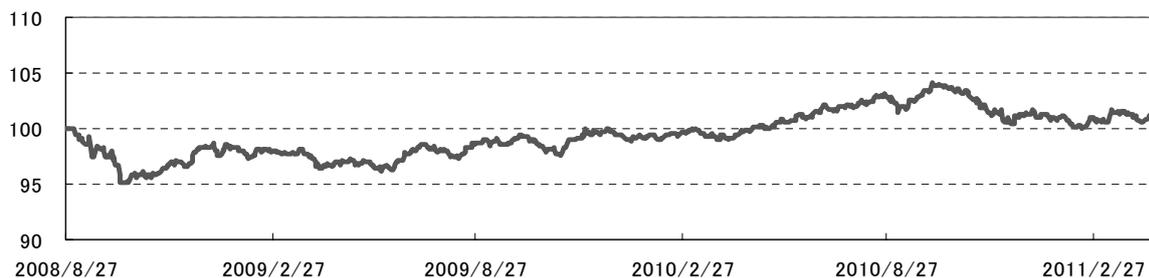
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■ 当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0808B」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SAバランス0808B	0.13%	0.35%	-1.97%	1.31%	1.47%	101.47

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	3,467	98.2%
現預金・その他*	64	1.8%
純資産総額	3,531	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	19.6%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	78.5%
3				
4				
5				

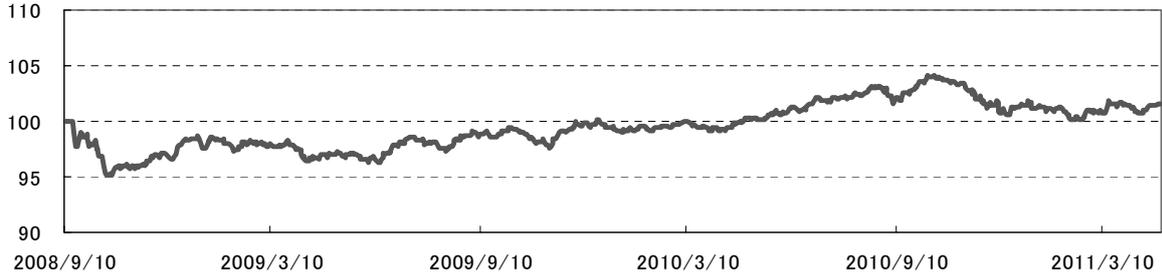
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0809A」運用状況

2011年4月末現在

■ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月10日）



■ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0809A	0.13%	0.34%	-1.98%	1.34%	1.57%	101.57

■特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	3,190	98.3%
現預金・その他*	54	1.7%
純資産総額	3,244	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.3%
2				
3				
4				
5				

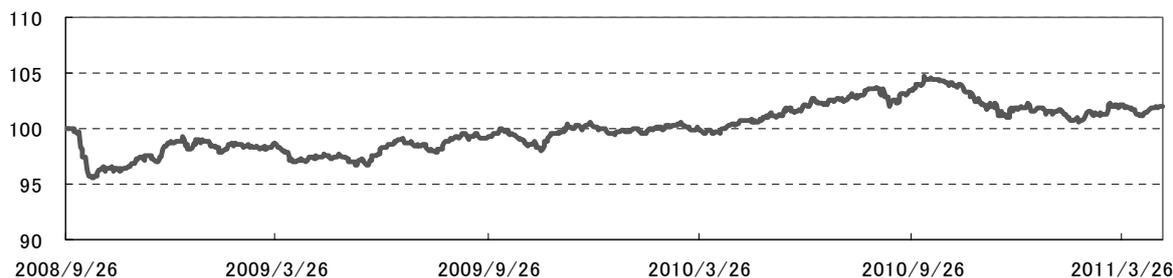
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0809B」運用状況

2011年4月末現在

■ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月26日）



■ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SAバランス0809B	0.13%	0.34%	-1.98%	1.35%	2.06%	102.06

■特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,346	98.1%
現預金・その他*	44	1.9%
純資産総額	2,391	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.1%
2				
3				
4				
5				

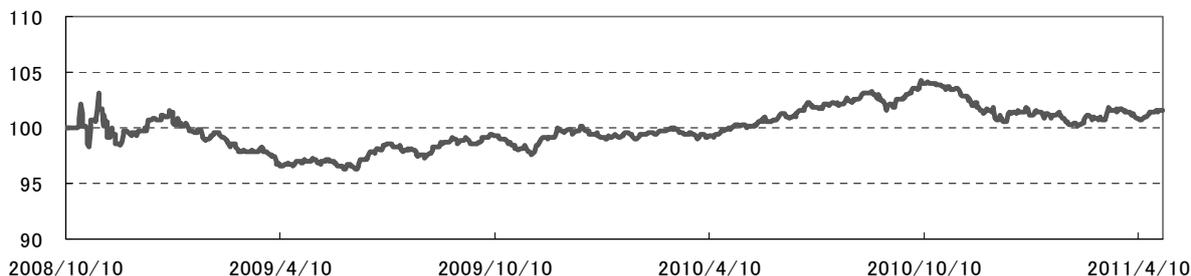
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0810A」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SAバランス0810A	0.13%	0.33%	-2.00%	1.41%	1.62%	101.62

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	1,792	98.2%
現預金・その他*	32	1.8%
純資産総額	1,824	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	68.7%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	29.6%
3				
4				
5				

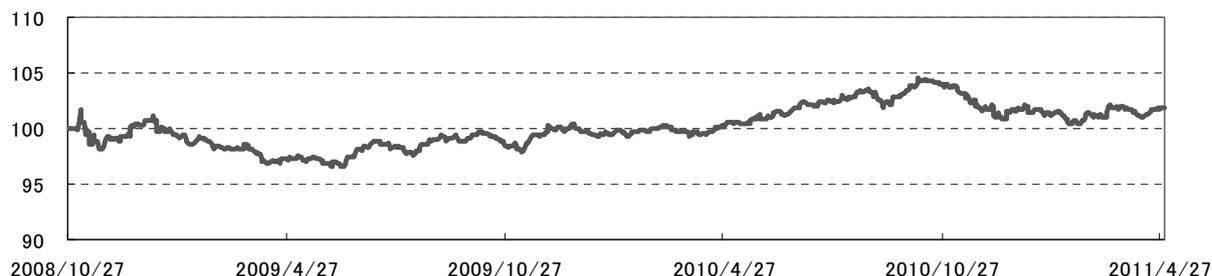
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SA/バランス0810B」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0810B	0.13%	0.33%	-2.01%	1.38%	1.89%	101.89

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	667	98.6%
現預金・その他*	9	1.4%
純資産総額	676	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年2月27日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	59.0%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	39.6%
3				
4				
5				

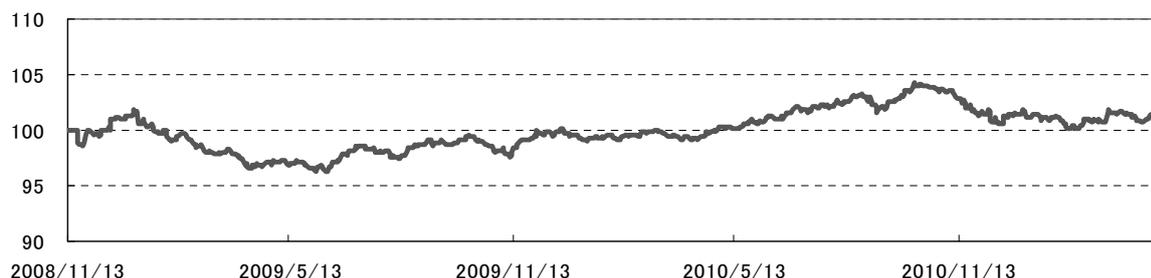
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0811A」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月13日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SAバランス0811A	0.13%	0.32%	-2.03%	1.36%	1.60%	101.60

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	612	98.3%
現預金・その他*	10	1.7%
純資産総額	623	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	39.2%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	59.1%
3				
4				
5				

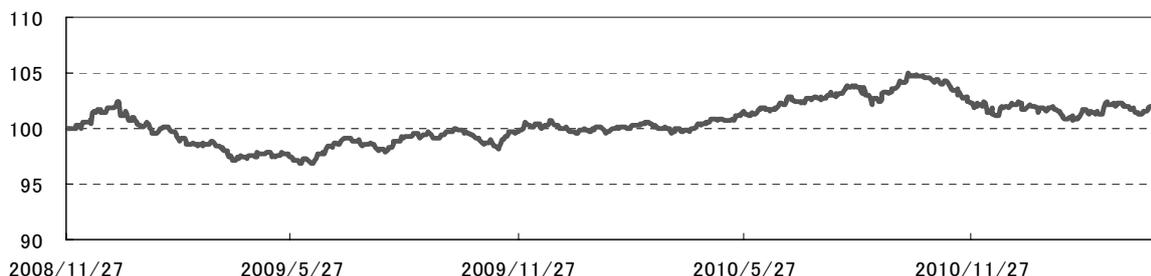
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SA/バランス0811B」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0811B	0.13%	0.31%	-2.06%	1.38%	2.20%	102.20

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	396	97.8%
現預金・その他*	9	2.2%
純資産総額	405	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月9日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	19.4%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	78.4%
3				
4				
5				

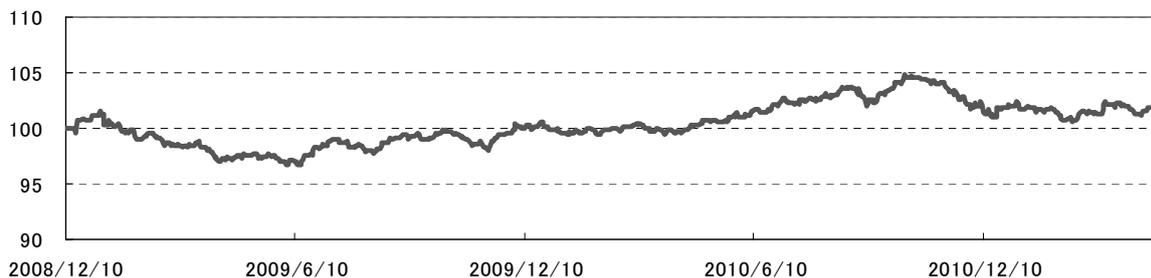
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SA/バランス0812A」運用状況

2011年4月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0812A	0.14%	0.32%	-2.04%	1.45%	2.12%	102.12

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託等	559	98.2%
現預金・その他*	11	1.8%
純資産総額	570	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月3日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	98.2%
2				
3				
4				
5				

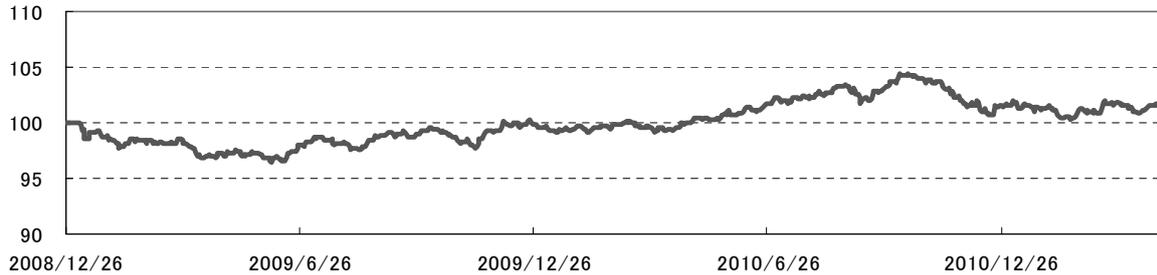
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0812B」運用状況

2011年4月末現在

■ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月26日）



■ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0812B	0.13%	0.30%	-2.05%	1.38%	1.75%	101.75

■特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	224	96.4%
現預金・その他*	8	3.6%
純資産総額	233	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年1月23日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.4%
2				
3				
4				
5				

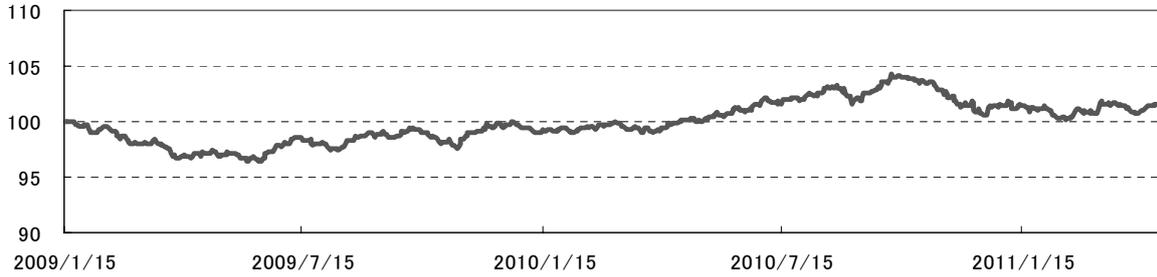
※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定「SAバランス0901A」運用状況

2011年4月末現在

■ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2009年1月15日）



■ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2011年4月末現在 ユニットプライス
SA/バランス0901A	0.13%	0.30%	-2.03%	1.43%	1.61%	101.61

■特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	89	96.2%
現預金・その他*	3	3.8%
純資産総額	92	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単価)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2011年4月末現在

■公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.2%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■当資料は、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。また、契約日から1年未満の解約もしくは一部引出には別途「解約控除」がかかります。

■運用期間中の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用	
		投資信託による運用	公社債等による運用
保険関係費用 (保険契約管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用で、死亡保険金額および年金原資を最低保証するための費用などを含みます。特別勘定の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.08%^{*2}	特別勘定の純資産総額に対して 年率0.90%
資産運用関係費用(資産運用管理費) ^{*1}	保険関係費用以外で、特別勘定の運用にかかる費用です。特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率0.90%程度^{*3}	資産運用関係費用はかかりません。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、年率0.90%となります。

*3 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、信託報酬はかかりません。

■解約もしくは一部引出した場合の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用
解約控除	契約日から1年未満 ^{*4} で解約もしくは一部引出した場合、解約控除対象額 ^{*5} から控除されます。	解約控除対象額に対して 0.20%

*4 1年未満とは、契約日から1年後の年単位の契約応当日の前日までの期間をさします。

*5 解約控除対象額とは、解約の場合は解約日の積立金額、一部引出の場合は一部引出額をさします。

■年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約) ※将来、以下の内容が変更になることがあります。

項目	費用の概要と適用方法	費用
保険関係費用(年金管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用です。年金支払開始日以降、支払年金額に対して右記の率を乗じた金額を、年1回の年金受取日に責任準備金から控除します。	支払年金額に対して 1.0%

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(年金保険)です。特別勘定は主に国内外の株式・債券等の値動きに連動する投資信託に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じる可能性があります。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。このため、預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも、年金原資として基本保険金額の105%が最低保証されます。ただし、年金原資が最低保証されるためには、運用期間(契約日から10年間)満了まで運用いただくことが必要です。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

<p>【募集代理店】 株式会社 三菱東京UFJ銀行</p>	<p>【引受保険会社】 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower TEL 03-6420-4000(大代表) ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp</p> <p>ご契約内容・各種手続きに関するお問合せは ご契約者さま専用テレホンサービス 0120-155-730</p> <p>受付時間 月～金/9:00～17:30 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)</p>
-----------------------------------	--